

例会報告：2014年11月4日（晴れ）第1865回 通常例会

◆新会員入会式

仲 徳子さん
昭和42年3月13生まれ
グッドライフ保険事務所
代表



◆会員誕生日

守屋 善男さん（10月30日）

◆結婚記念日

本多 純二さん（11月4日）
守屋 善男さん（11月5日）
安藤 克己さん（11月8日）



◆奥様誕生日

杉本 眞佐枝様（11月8日）

◆ニコニコ箱

中野 明委員

	ニコニコ箱	累計	目標
11月4日分	18,000	481,615	1,300,000

*会員誕生日

守屋 善男さん…古希を迎えました。健康診断をしたところ異常なし、安心しました。

*結婚記念日

安藤 克己さん…結婚記念日祝っていただきありがとうございます。

本多 純二さん…結婚記念日のお祝いありがとうございます。40年になりますか？よく続いていると思います。

守屋 善男さん…結婚記念日のお祝いありがとうございます。46回目を迎えました。

*奥様誕生日

杉本 博愛さん…妻の誕生日祝いありがとうございます。11月8日が誕生日です。毎週のように2人でゴルフに行っています！元気で過ごしたいと思います。

*その他

清 康夫さん…①先週は無断欠席してしまい申し訳ございません。②この2日、李・ワンチが家族で遊びにきました。男の子が生まれ1歳3ヶ月、とても元気なお子さんです。

露木 清勝さん…11月1日に小田原地下街「ハルネ小田原」がランドオープン致しました。我々木工業界としてもTAKUMI館を開店する事が出来ました。木製品の新たな情報発信の場になればと期待しています。

小嶋 章司さん…日曜日・月曜日と秋田、青森に行ってきた。日本海の荒波と強風で五能線は運航休止になり、かろうじて金木からストーブ列車で五所川原に行き「たちねぶた会館」で立ちねぶたを見てきました。五所川原のりんごが心配です。

柳井 渉さん…ウエルフェアポート湘南の皆様、本日は卓話よろしくお願いします。

■ 今後のメーカーシップ情報 ■

-2014年11月-

- ▶12日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:未定」
- ▶13日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:安藤 進会員/自己紹介」
- ▶14日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員による卓話」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:未定」
- ▶17日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話:『ハッピーバースデー』の著者 吉富多美様」
- ▶18日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話:R財団月間因んで/大場修一 R財団学友 前川 朋子(声楽)」
- ▶19日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:未定」
- ▶20日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:宝田商店専務 宝田 博 様/
元町・宝田商店の歩み」
- ▶21日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員による卓話」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:未定」
- ▶24日(月) 小田原 **休日休会**
- ▶25日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話:会員による卓話」
- ▶26日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:未定」
- ▶27日(木) 小田原中 報徳会館 17:30
「クラブ協議会/定例年次総会」
- ▶28日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員による卓話」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:未定」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監修：大川 久弥
編集長：大川 誠
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：杉崎 勝成・須藤 公司

会員数：51名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2014-2015
WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】
ゲイリー C.K. ホアン
【R.I. 2780地区ガバナー】
渡辺 治夫
【第9グループガバナー補佐】
澤田 君雄



【会長】齋藤 永
【副会長】太田 忠
【幹事】大川 久弥
【副幹事】櫻井 康二
【会場監督】小嶋 章司

ロータリーに輝きを

LIGHT UP ROTARY

本日の例会：通常例会（第1866回）

会場：小田原卸センター内会議室

日時：2014年11月11日 12:30～13:30

司会：櫻井 康二 副幹事

12:30	開会点鐘：齋藤 永 会長 ロータリーソング斉唱 「我等の生業」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告/出席報告/委員会報告 同好会報告/ニコニコ箱
13:00	担当：柳井委員長 卓話：小田原城北ロータアクトクラブ 鈕持 万起子様
13:30	閉会点鐘：齋藤 永 会長

【今後の例会・卓話スケジュール】

11月18日 通常例会 12:30
担当：R財団
卓話：クラブフォーラム

11月25日 通常例会 12:30
担当：久保田委員
卓話：福本 壘 様
「内容:未定」

12月2日 通常例会 12:30
クラブ協議会

12月9日 通常例会 12:30
担当：内山委員
卓話：税理士 空本 善孝様
「内容:未定」

12月17日 忘年家族会

12月23日 休会

12月30日 休会

MEMO

RAC 会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

例会報告：2014年11月4日（晴れ）第1865回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
 日時：2014年11月4日 12：30～14：00

❖ 会長挨拶



齋藤 永 会長

皆さんこんにちは、日増しに寒さが感じて来る今日この頃いかがお過ごしですか？気候の変化で風邪をひいている方はおられますか？私は咳がなかなか治らなく今やっと治りかけました。御身体がだるかったり、咳が出たりされてる方もおられると思いますが、健康には十分注意してすごしてください。

久しぶりの本日のことばです。『悔いのある一日が続いたら、変革のとき』というテーマで、今日の言葉は（もし今日が人生最後の日だとしたら、今日やることを本当にやりたいだろうか。）これは、皆様もご存知のアメリアの実業家、スティーブ・ジョブズのことばです。2011年に惜しまれながらも、この世を去ったカリスマ実業家です。彼の成功の理由は、なにも話題性だけではありません。妥協を許さない彼の経営方針にもありました。この名言は、スタンフォード大学の卒業式に招かれた彼が残したもので、彼は当時、「毎日鏡の前で悔いのない人生を送れているか、いつも自分に問いかけていた」と伝えられています。また、「自分への問いかけに《NO》が続いたときは、なにかを変える必要がある」とも語っていました。重大な決断の際にはいつも、彼はこの考え方を判断のてがかりにしていたといいます。

この地球上に住むすべての人々が、同じ時間の流れを生きています。一日が24時間だという事実は経営のカリスマも、私たちがまったく変わりありません。でも、その24時間をどれだけ有意義に過ごせるかは、その人次第です。毎朝、今日一日の予定を整理してみましょう。それは本当に意味のある予定でしょうか。今日やる予定の中に、足りないものや無駄なものはないでしょうか。

悔いのない人生を送るためには、仕事や学校、プライベートでも全力で向き合いたいものです。ですが、人間誰しも弱いもの。すべての日を悔いのない日に出来るとは限りません。大事なことは「NO」が続いたとき、自分をどう変えられるかなのです。

もう一度いいます。「もし今日が人生最後の日だとしたら、今日やることを本当にやりたいだろうか。」
 今日もよろしくお祈りいたします。

❖ 幹事報告



大川 久弥 幹事

1)本日の例会は社会奉仕委員会による聴導犬・介助犬のデモンストレーションが行われますので、30分間の延長となります。また、募金箱をまわしますので、ご賛同頂ける方はご寄附をお願い致します。

- 2) 本日例会終了後、新会員の方を対象にロータリー情報委員会によるセミナーが談話室で行われますので、必ず出席されます様お願い致します。
- 3) 本日入会された仲さんの所属委員会は親睦活動委員会で、5人グループは渡部さんのグループになります。

❖ 出席報告

小川 和夫 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
11月4日	51(46)	40	1	89.13%
10月28日	50(46)	37	3	86.96%
10月21日	50(46)	40	1	89.13%

【欠席者】 6名

一寸木 信雄、久保田 知子、石内 正彦、菊池 義雄、大野 英明、木村 頼弘 (休会)

【今回MU】 1名

久保田 知子 (10/29 小田原城北RAC)

【前回MU】 1名増加

一寸木 芳行 (10/29 小田原城北RAC)

【前々回MU】 増加なし

❖ 卓話

「介助犬・聴導犬について」

NPO法人ウェルフェアポート湘南 理事長 関水 俊明 様



ウェルフェアポート湘南の、ウェルフェアは「福祉」ポートは「港」、湘南の福祉の港から日本中に発信しようと8年前に立ち上げた介助犬・聴導犬の育成団体です。補助犬は盲導犬・介助犬・聴導犬の3種類があります。働く犬としては麻薬を捜す犬や警察犬など色々ありますが、身体障害者補助犬法という法律で守られている犬はその3種類だけです。介助犬は肢体の不自由な方のサポート、聴導犬は耳の不自由な方のために働く犬。私たちはその育成と、育成した犬を受け入れてくださる社会のために活動をしています。

今までに10頭の補助犬を育成してきました。日本では盲導犬が1010頭いるのに、介助犬は72頭、聴導犬は55頭しかいません。盲導犬は歴史が古く、介助犬・聴導犬が少ないのはスタートが遅かったからだだと思います。また、数が少ないのは全てオーダーで作られる犬だからです。

障がい者の方の状態に合わせて育成していくので、時間も費用もかかるのです。ユーザー（障がい者の方）と一緒に認定試験に受からなければ資格は持ってません。ユーザーとトレーニングを積み重ねて犬を作っていく、非常に長い時間と努力が必要なのです。



障がい者の方が犬を持ち、持った上で社会に参加して欲しいというのが私たちの目標です。家の中だけでなく外出して電車に乗り映画を見たり食事したりして欲しいのです。法律で守られており、電車も乗れますしお店も全て入れます。拒否はできません。しかし現実の世界では断られる場所もたくさんあります。私たちはこうやってお伝えして、社会に認知してもらって活動もしています。良い犬を育てても社会が受け入れてくれなかったら役に立ちません。補助犬を受け入れる社会を作ることが大切で、皆さんがその意識を少し持っていたら嬉しいですね。そして補助犬が訓練できる場も提供して欲しいと思います。電車に乗る練習をするのも許可を得るのが大変です。理解ある電車やバス会社、スーパーマーケットなどで練習させてもらっていますが、ぜひ受け入れをお願いします。もう一つのお願いは補助犬と一緒に働く場です。雇用機会の提供を検討していただけたらありがたいです。犬を作るのには費用がかかります。通常、一頭に300～450万円必要で、募金や寄附をお願いして育成しています。認定試験を通ると補助金が出ますが、その額は110～150万円くらい。どう考えてもマイナスです。正直、厳しい運営を続けていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。継続的に考えていただけたら助かります。実際に犬を見たら感じ取ってもらえることがあるでしょう。犬は人のために心から喜んで仕事をします。それを一人でも多くの方にお伝えください。犬が何をして、何ができるかをご覧ください。ほんの少しでも他の方にお話ししてください。



『実演1』 介助犬・パティ（7歳）

- 1) 車椅子を持ってくる（指示を待つ間は座って、必ず左側に寄り添う）
- 2) 落ちたものを拾う
- 3) トイレのしつけ（許可されてから固定したシートで排尿排便をする）
- 4) ベストなど補助犬の表示を身につける（ペットと違う、資格を持った補助犬であることを周囲に知らせるため）
- 5) 実際に歩く（指示を聞きながらユーザーのスピードに合わせて歩く。坂道などでは後ろから押してくれる）
- 6) 集中して待つ（待つのも仕事。触れたり声をかけたりせず、見守っていて欲しい）
- 7) チャイムを押す（家族を呼ぶ、エレベーターのボタンやナースコールにも応用がきく）
- 8) 靴・靴下を脱がせる
- 9) ゴミを捨てる



『実演2』 聴導犬・姫（5歳）

- 1) 目覚ましが鳴っていることを知らせる
- 2) キッチンタイマーを教える（音源を教える）
- 3) メール到着音を教える
- 4) 玄関のチャイムを教える
- 5) 自動車や自転車が近づくなどの危険を知らせる
- 6) 窓口・受付で呼ばれたことを知らせる
- 7) 耳の不自由な方は外見で分からないので、聴導犬がいることで周囲に知らせることができる

障がい者の方々が一番辛いのは特別扱いされること。配慮は必要ですが異なる扱いは求めていません。積極的な受け入れとご理解をお願いいたします。

